



野寺小だより

たんぽぽのように やさしく つよく のびのびと

～ 家庭・地域とともに一人一人が輝く野寺小学校 ～

学校教育目標

- ・よく聴き、よく考える子
- ・心のゆたかな子
- ・からだのじょうぶな子

児童数 702名

1月号 令和5年1月10日

今年もよろしくお祈いします

校長 保戸田雅之

新年、明けましておめでとうございます。

穏やかな晴天に恵まれた今年のお正月、保護者、地域の皆様におかれましては、健やかに迎えられたことと存じます。



新年、校舎4階廊下から望む富士山(R5.1.5撮影)

新年を迎えると、誰もが「今年こそは〇〇をがんばろう」というように、一年の抱負や決意を持つものですが、お正月が終わり、いつの間にかそれらが薄れてしまいがちです。

「心が変われば行動が変わる／行動が変われば習慣が変わる／習慣が変われば人格が変わる／人格が変われば運命が変わる」

アメリカ合衆国の哲学者・心理学者のウィリアム・ジェームズが残した名言だそうです。本気で変わりたいと思って、習慣になるまで努力を積み重ねれば、運命さえ変えられるという言葉です。

子供たちが夢や希望を持ち続け、その実現に少しでも近づけられるよう、家庭・地域・学校が共に支え合っていることを願っています。今年も、本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本の文化を知る

2学期の終業式、昨年度に引き続いて子どもたちにある宿題を出しました。それは、「お正月の遊びについて知ること」です。

利便性と経済活動が優先され、大晦日も元旦もなくコンビニもファミレスもショッピングモールも営業しています。年末年始でも普段と

変わらない生活ができます。「昔はよかった」と嘆くわけではありませんが、古くから伝わる日本のお正月らしさを、少しは子供たちに知ってもらいたいと思います。

2学期末、1年生の担任が、「年賀状を見たことがない、知らないという子がたくさんいて驚きました。」と話してくれました。また、以前あるテレビ番組で、竹馬に乗る映像を見た出演者が、「学校で習った。」と言っているのを見ました。「福笑い」「双六」「独楽」「凧揚げ」といった遊びも、学校で習うもの（日常生活ではやらないもの）になってしまったのでしょうか。



(ちなみに、3学期の始業式では、「福笑い」「双六」「独楽」「凧揚げ」の読み方をクイズにしました。)

グローバル化が進み、国や人種を超えた結びつきが強まる世の中を生きていく今の子供たち。是非

「日本らしさ」を身に付けてほしいと願います。外国の方から「日本について教えてください。」と言われても、胸を張って話ができる日本人であってほしいと思います。

給食室の改装工事が予定されています

来年度(令和5年度)に、野寺小の給食室の改装工事が予定されています。老朽化した設備を新しくして、よりおいしい給食が提供できるようにするものです。工事は、準備期間も含め今年の6月から12月まで行われます。令和5年度の2学期は給食室での調理ができなくなるため、その期間については、お弁当式の給食の提供となります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。